

ベルデカーレ

特別号

理事長コメント

津久井やまゆり園事件に関する理事長コメント（抜粋）

（略）津久井やまゆり園で起きた悲惨な事件から1か月が経ちます。時を経ても19名の利用者の尊い生命が失われ、27名の利用者・職員が負傷した事実は重く、決して拭い去れるものではありません。かえって、日が経てば経つほど悲しみと残忍・卑劣な行為に強い憤りを抑えることができません。

理事長として、本事件が元職員の凶行であったことの驚愕と事件を防ぐことができなかったことは誠に痛恨の極みであり、改めて事件にあわれた皆様のご冥福と一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

こうした中、負傷された利用者が生命の危険を脱し回復に向かっていること、園の生活での利用者の多くが体調を崩すことなく過ごされていることは、私ども法人及び職員にとり救いとなっています。現在、県職員の応援も得ながら懸命に利用者支援を続けているところです。（略）

今後も利用者の生活の安定や津久井やまゆり園の再生に向け、県の指導の下、園家族会や関係機関のご協力をいただきながら、法人を挙げて全力で取組んでまいりたいと覚悟です。引き続き、ご支援ご協力をお願いします。

平成28年8月26日 社会福祉法人かながわ共同会 理事長 米山 勝彦

園長挨拶

津久井やまゆり園の再生とともに

このたび当法人かながわ共同会が運営する津久井やまゆり園で痛ましい事件が起りました。当園の兄弟姉妹施設である津久井やまゆり園の再生とともにありたいとの思いから、今回の「ベルデカーレ vol.81」は規模を縮小して発行いたしました。

事件当日の早朝、TVから流れるニュースに愕然としました。まずその一つは、私たち障害福祉に携わる人たちが全く想定していなかった「施設で生活する利用者をターゲットに殺意をもって侵入した」ということです。半世紀以上も脈々と取組んできた地域に開かれた施設づくりは、「特別の場所で特別の人たちが生活する」という心の差別解消への取組みでもありました。二つめは、容疑者が「元職員」だったということです。多くの思いがあります。

事件発生から1ヶ月経った新聞記事に「この事件は重い問いを投げかけた。（略）障害の有無にかかわらず誰もが堂々と生きられる社会だ…そう胸を張って断言できるだろうか。」とありました。折しも今年4月に障害者差別解消法が施行され、合理的配慮などにより差別が解消された社会の実現に向けた取組みが、様々な地域でスタートしたばかりでした。

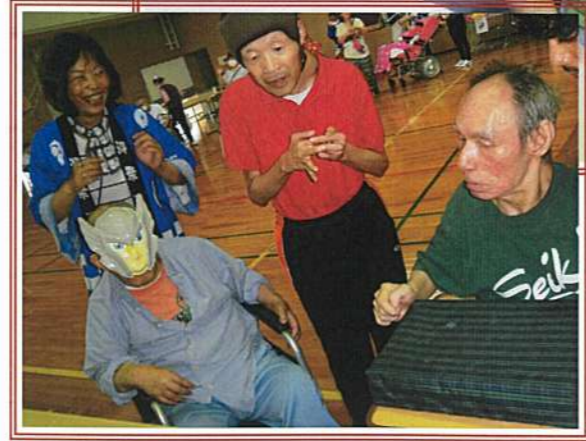
仲間である津久井やまゆり園に様々な皆さんから多くのご支援をいただいておりますが、当園におきましても、津久井やまゆり園の日常と笑顔が一日でも早く有ることを願って、利用者・職員ともども力を注いでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

園長 平嶺 一昭

夏祭り



おまっり



7月13日、厚木精華園夏祭りが行なわれ、射的や綿菓子などの出し物を楽しみました。ここに写真を載せることができませんでしたが、他にも多くのご利用者様がお祭りに参加し、皆さまが笑顔になり、楽しいひと時をお過ごしになっていました。

長寿の祝い



9月7日
長寿のお祝いを行いました。
簡単な式典後、各課に移動して会食をしました。
みなさんおめでとうございます。



ここに写真を載せることができませんでしたが、他にも選寿2名・古希4名
喜寿2名・傘寿5名の方が式典に参加されました

生活3課 お風呂事情



脱衣場にラジカセがあり利用者の方が好きな音楽を流し楽しく入浴していただくよう心掛けています。

毎日みなさん楽しくお風呂に入られております。
これからも安心、安全、そして楽しくお風呂にはおいていただくよう
支援員一同愛情ある支援をさせていただきますので
今後ともよろしくお願いたします。